

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>

しまね

いまいまねつと

2013
1月号

お知らせ

「女子力を活かす」 地域づくりセミナー

収益性を伴いながら地域課題の解決を目指すコミュニティビジネスが、全国的に注目を集めています。今回のセミナーでは、パネルディスカッションなどを通して、コミュニティビジネスのポイントと言われる女性の意見や実践例を紹介しながら、地域づくりに必要なマンパワーのあり方を多方面から考えます！

日時：2月26日(火) 13:00~15:30

会場：あすてらす研修室1・2

大田市大田町イ236-4

参加費：無料 〆切：2月15日(金)

定員：40人 関心ある方ならどなたでも！

セミナーの流れ(予定)

(1) パネリスト活動紹介

県内の暮らし・食・健康分野で地域活動を展開する3人のパネラーの事例を紹介します

(2) パネルディスカッション

あなたが思う女子力とは？女子力を生かすポイントは？必要なサポートは？…等意見を交換します

(3) 質疑応答・フリートーク

会場の皆さんと交流します

パネリスト

梅慈子さん (NPO法人くらしアトリエ代表理事)

…「山陰から始まるていねいな暮らし」を提唱。ワークショップや地元の食の恵みに触れる朝市などを開催する。

和田裕子さん (アンテナカフェハレの日)

…「食材と人のハレ舞台」を演出するアンテナカフェを開設。大田の食材にこだわり、その魅力や地方のリアルな情報を発信する。

溝部俊也さん (NPO法人しまねコーチズ代表理事)

…高齢者などを対象に、楽しく効率的な運動教室を開催。体操、ゲーム、脳トレなどを織り交ぜ、健康・生きがいづくりを進める。

アドバイザー

白川和子さん (協同組合グループ石見フランド事務局)



問い合わせ・申し込み

(公財)ふるさと島根定住財団松江事務局 (柏木)

TEL0852-28-0690

(公財)ふるさと島根定住財団石見事務所 (黒川)

TEL0855-25-1600

助成金情報	
中国地方地域づくり等助成 期～1/31(木)	<p>対 「みらいビジョン中国21“2009”」の5つの地域整備の目標を達成するため、国土交通省が実施する施策や整備事業等に関連し、将来的にも社会資本整備に繋がる事業であり、ボランティア活動で自らが実施することが可能な地域団体等</p> <p>金 1件100万円が限度</p> <p>問 (社)中国建設弘済会島根支部 Tel:0853-20-7133 Fax:0853-20-7131 URL:www.ccba.or.jp</p>
アステラス製薬(株) 患者会支援活動資金助成 期～1/31(木)	<p>患者会の自立的発展をサポートするため、活動資金を支援します。</p> <p>対 会の自立や役員、リーダー、相談員の養成が期待できる活動や大災害に対する会の取り組み</p> <p>金 1件50万円が上限</p> <p>問 アステラス製薬(株)総務部スターライトパートナー担当 Tel:03-3244-5110 Fax:03-5201-6611 E-mail:star-light@jp.asTellas.com</p>
暴力団排除事業公募助成 期～3/29(金)	<p>対 暴力団事務所の進出阻止・撤去に向けた各種活動と訴訟活動</p> <p>金 1件あたり100万円が上限</p> <p>問 (財)社会安全研究財団事務局(暴排活動事業募集係) Tel:03-3219-5177 Fax:03-3219-2338 URL:www.syaanken.or.jp</p>

イベント情報	
シンポジウム「いにしへの石見銀山の景観を考える」 日 1/30(水) 大田 15:00～	<p>竹林拡大などにより、眺望が失われている現状が見られる石見銀山遺跡。江戸時代以前は森林資源を活用することで形成された安定的な景観があったと考えられています。今回のシンポジウムでは、植生景観史の専門家を招き、各データを使っていにしへの石見銀山の山野の姿に思いを馳せます。</p> <p>【プログラム】・小椋純一氏講演「森と草原の歴史」・パネルディスカッション</p> <p>費 300円(資料代)</p> <p>場 ゆきみーる(大田市大田)</p> <p>問 NPO法人緑と水の連絡会議 Tel:090-6837-3008 E-mail:ginmori@hotmail.co.jp</p>
くまびき学園学園祭 日時 2/2(土) 3(日) 松江 10:00～ 2/9(土) 浜田 9:30～	<p>松江会場では、社会文化科・健康福祉科や、在校生・卒業生による合唱・寸劇の披露、社会文化科学生の地域活動報告、陶芸科・園芸科学生の作品、絵画、写真、書画などの展示、お茶席、即売コーナーなどを予定。浜田会場では、園生(卒園生含む)の作品展示や園芸品、陶芸品の展示即売、喫茶・お茶席、演芸、バザーなどの各種催しがあります。</p> <p>場 松江会場:いきいきプラザ島根(松江市東津田町)、浜田会場:いわみーる(浜田市野原町)</p> <p>問 松江:シマネスクくまびき学園東部校学友会 Tel:0852-32-5962 浜田:シマネスクくまびき学園西部校学友会 Tel:0855-24-9336</p>
障がい者スポーツフェア 日時 2/23(土) 松江 13:00～	<p>「スポーツでふれあいと交流、仲間づくり」をテーマに、障がい者スポーツ競技の体験交流会を開催します。体験できる競技は、車いすバスケット、車いすバドミントン、卓球、フライングディスク、グラウンドゴルフ、その他レクリエーションスポーツ。スポーツ安全講習もあります。各競技団体の皆さんや地域の皆さんと、スポーツ交流を通じて健康生活の推進を応援します。</p> <p>場 島根県立はつらつ体育館(松江市上乃木)</p> <p>対 小学生、障がい者スポーツ競技に興味のある方など</p> <p>費 大人300円、子ども200円(保険代込み)</p> <p>参加者には粗品進呈。スポーツができる服装・シューズ持参。</p> <p>問 島根県立はつらつ体育館 Tel・Fax:0852-21-3253 URL:www.mishimane.co.jp</p>

募集情報	
くまびき奨学金寄附協力者 期～1/31(木)	<p>公益財団法人しまね国際センターでは、学業成績、人物とも優秀な県内私費留学生に対し、勉学生活の安定を図るために奨学援助を行う「くまびき奨学金」を設け、当センターの財源と皆さんからの寄付金を原資とし、外国人私費留学生に月額2万円を支給する制度を持っています。当センターに対する寄附金は、税金控除の対象になります。奨学金へのご協力をお願いします。寄付額は、企業・団体が10万円から、個人が10千円から。銀行振り込みか現金書留、持参のいずれかで受け付けます。</p> <p>問 (公財)しまね国際センター Tel:0852-31-5056</p>

※アイコンの説明

日 日にち 時 時間 場 場所 定 定員 費 費用 主 主催 期 期日 金 助成金額 対 対象 問 問合せ先

お知らせ

しまね社会貢献基金 サポーター企業 第1号登録!

島根県が募集していた「しまね社会貢献基金サポーター企業」の第1号として、株式会社アルテミスビュースカイ（渡部幸太郎代表取締役=写真右）が登録されました。

しまね社会貢献基金は、県民いきいき活動を行うNPOや市民活動団体などを資金面で応援する基金として、島根県が平成21年に設置。サポーター企業登録制度は、この基金に企業等が寄附する、または、寄附することを前提とした商品を販売する場合に、県がその企業をサポーター企業として登録する制度で、昨年11月に創設されました。サポーター企業として登録されれば、専用ロゴマークの表示が可能となるほか、県HPでの取り組み紹介、寄附金の全額損金算入が可能というメリットがあります。

今回登録された株式会社アルテミスビュースカイは、「まいぷれポイント」サービスにより同社に入る事務手数料の一部を寄附する考えで、第1回の寄附は7月の予定です。

同様の基金を設置している都道府県は全国に9県あり、こうした形での寄附付商品による寄附制度は、中四国地方で初めてです。制度に関する問い合わせは、島根県NPO活動推進室（電話 0852-22-6099）まで。



報告

NPO パワーアップ研修 **共感CM研修**の報告 および「いいこといっしょにいきいきフェスタ★2012」 **共感CM賞・ブース賞受賞団体**の紹介

フェスタの事前研修として開催した共感CM研修では団体の『共感力』をUPさせる活動紹介CMをつくりました。言葉を磨き、情報発信力を高めること・内容の検討を通じて、団体内の情報共有を進めること・実際に出来上がった団体紹介CMをフェスタで公開すること等を目指しました。今後も団体の変化に伴い、新しい情報発信のツールをうまく活用し、活動に役立てていただければと思います。

【共感CM賞・ブース賞受賞団体】

《共感CM大賞》

NPO法人自然再生センター

《共感CM審査員特別賞》

NPO法人結まーるプラス

NPO法人まちづくりネットワーク島根

《共感ブース賞》

みんなでつくるカフェ

《共感ブース審査員特別賞》

NPO法人おやこ劇場松江センター

樹冠ネットワーク

受賞された団体のみなさん、おめでとうございます！

社会貢献活動支援事業・複数年型採択団体決定

県民いきいき活動支援助成の今年度第2回社会貢献活動支援事業・複数年型の審査会で採択団体が決定しました。団体名と事業内容は次の通りです。（単年型は次号掲載予定）

- ・ **三新塔あきば協議会**（雲南市）
…交流の場づくり事業
- ・ **AR. Dream. Road**（出雲市）
…犬と猫の共生社会の実現と動物愛護に関する活動事業
- ・ **紫の風**（松江市）
…みんなで学ぶ性同一性障害～性別に違和感を持つ人たちの人権啓発プロジェクト～



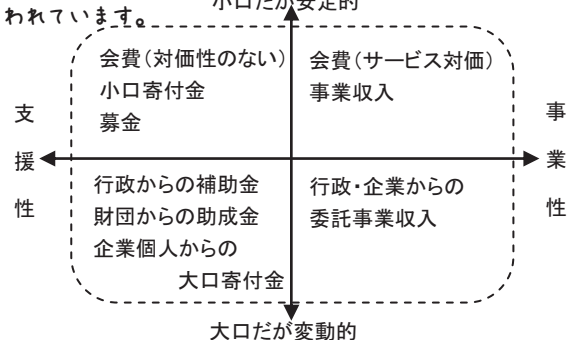
資金調達

新しい年を迎え、団体の活動の今年の抱負や夢を抱いておられることと思います。団体の活動資金源について、来年度を見据えて計画を立てる頃でもありますね。

資金というと、非営利活動団体の場合、助成金を思い浮かべるかもしれませんが、「何度も申請するのに通らない」といった声を聞くことがあります。助成金の活用が必要と判断した場合、こういった助成制度からさがすとよいでしょうか。最初から全国公募の助成金を考える前に、身近な助成制度がないかを、サイト「島根いきいき広場」の助成情報検索から探してみましょう。県内に多く見られる予算規模が100万円未満の小さい団体の場合、県内独自の制度など、地域に見合った制度が用意されていることが多く、どちらかといえは獲得しやすいと言えます。

ではそもそも、NPOにとって資金調達はどのように捉え

たらよいでしょうか。右の図は、資金をどこから得るかにより、分類した図です。介護保険事業などを行っている団体は、右の対価性の高い構造になると思われる。また、反対に対価を得るのが困難な活動をしている団体にとっては、左側の支援性の高い資金源が中心になると言えます。こういった活動を行うにしても、どれかに偏った資金に頼っていると、運営が難しくなることが多いと言われています。



コラム

島根で 頑張る人

石見愛から定住を支援 「ITで田舎を元気に」

「都会から移り住んですぐに、ここはなんて素晴らしいところなんだ！と感じた」と、かわべさん。極上の田舎・石見の魅力が伝えたくて「月刊しまね iwami マガジン」という石見地方の観光&定住情報満載サイトを立ち上げ、移住者ならではの気付きやアイデアで、地元の宝を掘り起こす。「いいところだから、住んでもらいたい」と、田舎暮らし体験ツアーをはじめ、空家・空地の有効活用・交流促進に力を入れ、石見への愛と持ち前の好奇心から、自然に地域づくりに深く関わるようになった。

定住を支援する立場では、いくつかの挫折も経験した。田舎暮らし体験ツアーを機に都会の男女が出会い、移住。住まいも



タブレットPC出前講座

仕事も親身になって探し、その後結婚して子どもも生まれた。ここまでは順調に思われた定住支援。ところが、地元で親族のいない彼らにとっての壁は、働きながら子育てをしていく上での難しさだった。田舎を離れていく理由に、住まい・仕事の他にも子育て環境があることに気付かされた。しかし、「どんな失敗があってもその先に活かせることがある」と決して悲観しない。自警ネット、コミュニティ・ビジネス開発支援「石見問屋」(ネット通販)等、その後次々と繰り出す地域への提案は、定住を実現するためには多方面からの取組みが必要という気付きが活かされている。

最近では、「ITで田舎を元気に」を合言葉に、タブレットPCを活用した出前講座を開催(県西部県民センターとの協働事業)。参加者の楽しい表情から、「高齢者の方には少しのきっかけさえあれば、自ら学び、わくわく元気になる潜在能力がある」と感じたという。「元気な高齢者も(地域の)宝の一つ」だ。

さらに、当財団主催の共感CMづくりセミナーへの参加をきっかけに、メッセージが伝わりやすい「音楽」にも着目。若い頃から作詞が趣味でもあったかわべさんの次なる仕掛けは「音楽」か？これからも、どんな風に地域を元気にしていくのか、ますます目が離せそうにない。(M)



NPO法人結まーるプラス

理事長 かわべ まゆみ さん

大分県出身。22歳で上京、マーケティングプランナーとして活躍後、跡継ぎの夫について13年前、夫の実家のある石見へ。「特に地域づくりに関心があったわけではない。おもしろいこと、好きなことをやっていたら自然とこうなった。苦手な事でも断らない。別の気付きがあるから」。いつも新しい視点を持って挑戦するポジティブ人。

団体の今までの主な活動

定住促進のための田舎暮らし体験ツアーや地域おこしイベントの企画・運営を行う。平成17年2月にNPO法人「結まーるプラス」設立。Iターン仲間とJR 三江線の川戸駅(無人駅舎内)の事務局『さくらサロン』を拠点に、過疎地の地域づくりに取り組む。

- NPO 法人結まーるプラス HP
<http://iwami1.jimdo.com/>
- かわべまゆみサイト
<http://www.kawabemayumi.net>

スタッフ後記

2013年が始まりました。今年は、出雲大社が60年に1度の正遷宮を迎えることもあり、全国的に島根が注目を集める年になりそうです。他県から訪れた人たちに島根の良さが伝わるよう、元気な地域づくりのお手伝いをしていければと思っています。この機関紙の中でも、地域に根ざした取り組みや活動を展開する人たちを、引き続き紹介していきます。課題は様々あれど、焦らず、あきらめず、情熱を持って地域づくりを進める人たちの姿に力いっぱいエールを送り、共に歩いていければと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します！(K)

2月にしまね田舎ツーリズム研修会を浜田と出雲で！

冬期の田舎暮らし体験や意見交換を行います。

【浜田】2月16、17日 「弥栄ええとこ歩き～『冬仕事』“体験三昧”編」
場所…浜田市弥栄町三里地区(小角集会所、ふるさと体験村)

【出雲】2月23日 「『田舎の冬』をお洒落にデザイン！～焚き火小屋の炎を囲み、田園の暮らしを語ろう」

場所…出雲市上島町(しまね自然の学校焚き火小屋)

★問い合わせは Tel: 浜田 0855-25-1600、出雲 0852-28-0690 まで

【H24.12.31 現在】

- 県内NPO法人数…257 (内 認定NPO法人数…1)
- 新設NPO法人数… 0 (H24.12月分)
- しまね社会貢献基金登録団体数…55
- だんだん認証レベル取得団体数…40 (内 レベル2…23)

松江
事務局

〒690-0003
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

〒697-0034
浜田市相生町 1391-8 シティパルク浜田 2階
石見産業支援センター「いわみびらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見
事務所